函館市医療・介護連携推進協議会　令和６年度第１回会議

日時：令和６年１１月２９日（金）１９：００
場所：函館市役所　８階大会議室

【次　第】

１　開　　会

２　議　　事

○　報告事項
(1) 令和５年度函館市医療・介護連携支援センターの業務報告について（資料１）
(2) 令和６年度上半期における函館市医療・介護連携支援センターの活動報告について
・情報共有ツール作業部会関係（資料２）
・多職種連携研修作業部会関係（資料３－１，３－２）
・連携ルール作業部会関係（資料４－１～４－４）
・その他（資料５－１，５－２）

○　協議事項
(1) 「はこだて医療・介護連携サマリー」の全国展開に向けた基本ツールの改正について（資料６－１，６－２）

３　そ の 他

４　閉　　会

【配布資料】
１　報告事項(1)関係資料
資料１：令和５年度函館市医療・介護連携支援センター業務報告
２　報告事項(2)関係資料
資料２：はこだて医療・介護連携サマリー　活用状況調査集計結果およびＱ＆Ａ
資料３－１：令和６年度　多職種連携研修計画実績および予定表
資料３－２：ホームページ上で掲載した研修情報一覧
資料４－１：はこだて療養支援のしおり　令和６年更新内容
資料４－２：はこだて入退院支援連携ガイド　改善箇所　令和６年４月変更
資料４－３：オーバーナイト対象患者に係るヒアリング調査結果（医療サイド）
資料４－４：高齢者の救急受診にかかわる調査（介護側へのヒアリングに先立つアンケート）
資料５－１：令和６年度上半期におけるその他の活動報告
資料５－２：函館市医療・介護連携支援センター　相談件数統計
３　協議事項(1)関係資料
資料６－１：「はこだて医療・介護連携サマリー」の全国展開に向けた基本ツールの改正について
資料６－２：はこだて医療・介護連携サマリー（現行・改正案）

函館市医療･介護連携推進協議会　顧問･委員名簿

令和6年11月29日現在

（ 顧 問 ）　　（敬称略）

分　野	所属団体	職　名	氏　　名	勤務先	
医　療	公益社団法人　函館市医師会	会　長	オオハラ　マサノリ 大原　正範	独立行政法人国立病院機構 函館医療センター	※欠席
	一般社団法人　函館歯科医師会	会　長	イワイ　ヒロユキ 岩井　宏之	岩井歯科医院	
	一般社団法人　函館薬剤師会	会　長	ヤナギハラ　マサアキ 柳原　正明	はこだて調剤薬局	※欠席
行　政	函館市病院局	局　長	ウジケ　ヨシヒト 氏家　良人	函館市病院局	※欠席

（ 委 員 ）　　（敬称略）

分　野	所属団体	職　名	氏　　名	勤務先	
医　療	公益社団法人　函館市医師会	副会長	コニシ　ヒロアキ 小西　宏明	こにし内科・心臓血管クリニック	
	一般社団法人　函館歯科医師会	副会長	タカミ　ヒロシ 髙見　浩	タカミ歯科クリニック	
	一般社団法人　函館薬剤師会	副会長	オオタニ　ヒロ キ 大谷　敬貴	トート相談薬局	
	公益社団法人 北海道看護協会　道南南支部	支部長	キタムラ　カズヒロ 北村　和宏	社会医療法人高橋病院	
	道南在宅ケア研究会	会　長	カワグチ　アツヤ 川口　篤也	社会医療法人道南勤労者医療協会 道南勤医協函館稜北病院	
	函館地域医療連携実務者協議会	世話人	カメヤ　ヒロシ 亀谷　博志	函館中央病院	
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会	理　事	アベ　アヤコ 阿部　綾子	医療法人社団函館脳神経外科病院	
介　護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	会　長	ワタベ　ヨシヒト 渡部　良仁	小規模多機能ホームアニー	
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	会　長	シノヘ　エツミ 四戸　悦未	函館市地域包括支援センターあさひ	
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	会　長	ヨシアラ　タツヤ 吉荒　龍哉	介護老人保健施設ケンゆのかわ	
	道南訪問看護ステーション連絡協議会		ホサカ　アケミ 保坂　明美	訪問看護ステーションフレンズ	※欠席
	道南地区老人福祉施設協議会	会　長	サイトウ　タダフミ 齋藤　禎史	介護老人福祉施設シンフォニー	
行　政	函館市保健福祉部	部　長	サトウ　ツトム 佐藤　任	函館市	

（ オブザーバー ）

（公社）函館市医師会事務局　（一社）函館歯科医師会事務局　（一社）函館薬剤師会事務局　渡島総合振興局
北斗市　七飯町　ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

（ 事務局等 ）

函館市保健福祉部　市立函館保健所　函館市医療・介護連携支援センター

資料１

令和５年度函館市医療・介護連携支援センター業務報告

（１）情報共有ツール作業部会関係業務

○　医療・介護関係者の情報共有の支援

・　「はこだて医療・介護連携サマリー」活用状況調査を実施（年２回）
・　「はこだて医療・介護連携サマリー」の修正とＱ＆Ａ集をホームページに掲載
・　「はこだて医療・介護連携サマリー」に応用ツール⑱「本人の意向を尊重した意思決定支援のための情報」を追加
・　人生会議の説明書として「もしもノートはこだて」を作成
・　「入退院支援連携強化研修会（サマリー編）」の開催（２回）
・　医療・介護連携におけるＩＤ－Ｌｉｎｋの普及に向けたワーキンググループを開催（１回）

（２）多職種連携研修作業部会関係業務

○　医療・介護関係者の研修

・　函館市医療・介護連携多職種研修会を開催（１回）
・　医療・介護関係者向け研修を開催（３回）
・　専門職の職能団体同士が直接，連携・協働できる環境づくりのためにホームページに掲載している「各関係団体の窓口一覧」を更新
・　各団体から寄せられた研修情報をホームページに掲載（４１件）

（３）連携ルール作業部会関係業務

○　切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

（退院支援分科会関係）

・　「はこだて入退院支援連携ガイド」，「はこだて療養支援のしおり」に係るアンケート調査の実施および情報の更新
・　「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」の開催（１回）
・　在宅看取り冊子「住み慣れたおうちで最期まで　大切な方の旅立ちを支える皆様へ」を作成

（急変時対応分科会関係）

・　急変時対応の連携ルール検証のため，介護施設（１３８か所）や医療機関（２０か所）の実態を調査
・　函館市医療・介護連携「急変時対応研修会」を開催（１回）

（４）その他

○　地域の医療・介護の資源の把握

・　「医療・介護連携マップ」をホームページ上で運用しているほか，マップの活用に関するアンケート調査を実施
・　「多職種から寄せられたお役立ち情報」をホームページに掲載（１２件）
・　専門職の業務に関するコラムをホームページに掲載（４件）

○　医療・介護連携に関する相談支援

・　新規相談件数　１５５件（延べ３５２件）

○　医療・介護関係者の研修

・　出張講座の開催（３件）

○　市民への普及啓発

・　リーフレットおよびポスターの配布，ホームページによる広報・周知
・　市民向け出前講座の開催（１２回）

○　その他

・　新規立ち上げ事業所への挨拶回りの実施（３件）

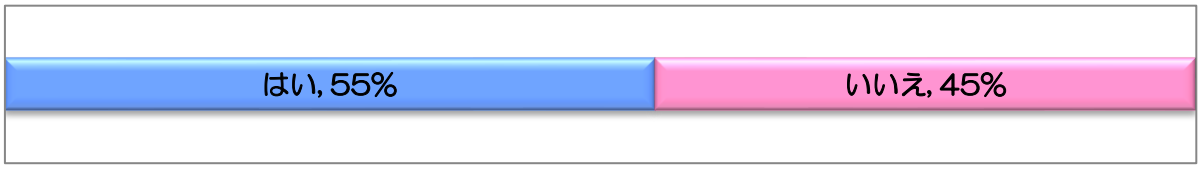
情報共有ツール作業部会関係資料

資料2

Ｒ６年７月調査分

情報共有ツール作業部会　はこだて医療・介護連携サマリー
活用状況調査集計結果 Ｒ６.１.１～Ｒ６.６.３０分（n=１２１）

〇貴所属機関では，「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下「サマリー」と表記）を作成し，情報共有に活用されたことがありますか。

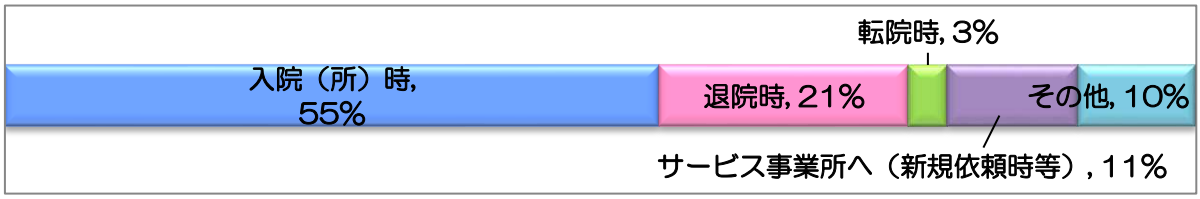


〇上記いいえの理由。

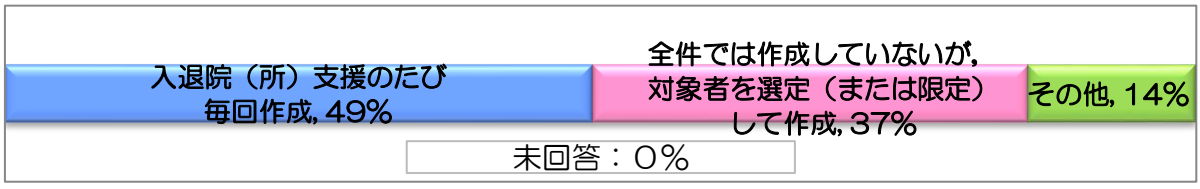
〇ア 令和６年１月１日から令和６年６月３０日までの期間で，何件の「サマリー」を作成されましたか？

- 最大作成件数は１，２１０件
- １機関の平均活用件数は３０件

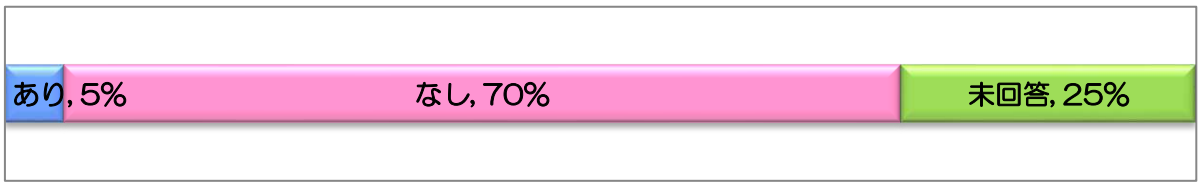
〇イ どのような機会に作成し，活用していますか。（複数回答あり）



ウ　どのくらいの頻度でお使いですか。（複数回答あり）



〇「サマリー」の内容について，見直しが必要な箇所があると思われますか。



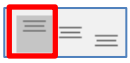
はこだて医療・介護連携サマリー　Ｑ＆Ａ集

（Ｒ６年１０月 掲載予定分）

Ｑ１．応用ツール⑲６分割になっているためセルを結合したり改行が上手にできず文字がずれてしまうことが多いです。設定することなく Word のように打てると体裁よく情報提供も早くなると思いました。

Ａ　：応用ツール⑲は，以前に「分割していた方が使いやすい」というご意見から，現在の６分割に修正いたしました。ですが，今回のご意見のように使い勝手は人により異なるかと思いますので，分割せずに（セルを結合して）ご活用いただいて構いません。

〇６分割せずに（セルを結合して）使用する方法

- 現在の応用ツール⑲の結合したい範囲を選択。
- エクセル上部にあるリボンタブ「ホーム」内にある （セルを結合して中央揃え）をクリック。今まで結合されていたセルが分割されます。もう一度クリックすると選択したセルが結合されます。
- 文字が中央揃えになっているので，上記同様にエクセル上部にあるリボンタブ「ホーム」内にある  （上揃え）と （左揃え）をクリック。上揃えの左揃えに修正。

多職種連携研修作業部会関係資料

【 令和６年度 多職種連携研修計画実績および予定表 】

	目的（テーマ）および内容	形式				主催/共催	定員	参加者数	時期（実施日時）
		規模（会場）	形態	対象者	レベル				
（１）相互理解の促進									
	①医療関係者向け研修 「退院後，施設でどのような生活をしているか知っていますか？」 講師：特別養護老人ホーム百楽園　主任支援相談員　高木 健太郎様 サービス付き高齢者向け住宅　サンライズ函館　施設長　鈴木 文香様	中規模 （函館脳神経外科病院） （函館中央病院） （函館市医師会病院）	座学講義	医療・介護関係者	初級～中級	ほ・なセンターと共催	８０名程度 １２０名程度 ８０名程度	８５名 ６８名	6月１９日（水）（終了） 8月２９日（木）（終了） R7年2月頃予定
	②介護関係者向け研修 「急性期病院の事情について～思いやりのある連携～」 講師：市立函館病院　入退院支援課　入退院支援係長　熊倉 慎治様 函館脳神経外科病院　医療相談室　主任　阿部 綾子様	中規模 （函館競輪場）	座学講義	医療・介護関係者	初級～中級	ほ・なセンターと共催	１００名程度	１２０名 ７０名	6月１３日（木）（終了） 8月３０日（金）（終了） R7年2月１８日（火）予定
	③オープンカンファレンス	中規模 （函館市医師会病院）	対話体験 （事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	函館市医師会病院と共催	１００名程度	１１１名	6月27日（木）（終了） １１月7日（木）予定
	④ 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認	－	－	－	－		－		8月１６日（金） 更新済み
（２）連携強化									
	②看取り＆連携強化 ・第９回函館市医療・介護連携多職種研修会 「『地域でつなげようACPの輪』～この地域でのACP連携を目指して～」	大規模 （国際ホテル）	対話体験型 （シンポジウム・GW）	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	３００名程度		１０月１９日（土）予定
	③入退院支援 （ア）「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（退院支援分科会主催） 「関わっているその人のイメージ，ズレているかも？ ～病院・在宅・施設間のズレないイメージの情報共有とは～」	小規模 （函館市医師会病院）	対話体験型 （GW）	医療・介護関係者	中級～上級	主催	４０名程度		１１月１５日（金）予定
	④急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 「令和６年函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』」	中規模 （函館競輪場）	対話体験型 （シンポジウム・GW）	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	１００名程度		R7年2月予定
（３）多職種連携の専門性の向上									
	東央部第２圏域ケアマネ懇談会 「地域みんなでご本人の思いをつなぐ」 ～ACPツールもしもノートはこだて人生会議説明書～	小規模 （包括支援センターたかおか）	講師：センター職員	介護関係者	設定なし	出張講座	２０名程度	１３名	7月１７日（水）（終了）
（４）人材育成									
	センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者		数名		随時

※　新型コロナウイルスの状況等により，研修会の中止および開催時期，方法等が変更となる場合があります。

資料３－１

資料3−2

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和６年４月～令和６年９月）

月	研修名称（団体名）	件数
４月		０件
５月		０件
６月	令和6年度第1回講演会 「総合診療医に聞きたいあれこれ ～地域医療の中でわたしたちができること～」R６年６月２２日開催 （函館鍼灸マッサージ師連絡協議会主催）	３件
	「函館市医師会 在宅医療医会 令和6年度総会および第4回研修会」R６年７月２４日開催 （函館市医師会在宅医療医会主催）	
	「フェムテックを学ぼう」R６年７月２４日開催 （北海道柔道整復師会 函館ブロック主催）	
７月	2024年度　保健師職能集会（道南南支部） 「ひきこもり状態にある方への支援の実際」R６年８月３１日開催 （北海道看護協会道南南支部主催）	４件
	第２７回道南摂食嚥下研修会 「『美味しくご飯が食べたい』～自分で食べて頂くための取り組み～」 R６年７月３０日開催 （道南摂食嚥下研究会主催）	
	精神疾患を抱える方の家族のための第１回家族支援ネットワーク学習会 「家族のコミュニケーションを考える」R６年８月３日開催 （北海道精神保健福祉士協会道南ブロック主催）	
	「令和６年度　在宅医療・介護連携に関する意見交換会」R６年９月７日開催 （北海道渡島総合振興局保健環境部保健行政室（渡島保健所）主催）	
８月	こども子育て支援室３周年記念講演会 「うそをつく、文句ばかり言う、暴言・暴力、怠惰・無気力～トラウマの視点で子どもたちを捉えなおし、あたたかい地域をつくろう～」R６年９月５日開催 （函館中央病院　総合医療支援センター　こども子育て支援室主催）	４件
	道南在宅ケア研究会 スピンオフ企画研修会 「セルフケア革命-あなたの心と体を守る実践法-」R６年９月１３日開催 （道南在宅ケア研究会主催）	
	「函館緩和ケアセミナー」R６年９月２０日開催 （函館五稜郭病院緩和ケアチーム主催）	
	第10回ICNJ北海道支部道南ブロック研修会 「『すぐそこにある災害』　～生きる術をここ道南から考える～」R６年１１月２日開催 （日本感染管理ネットワーク北海道支部主催）	
９月	令和６年度 第２回研修会 「ぜひ知ってほしい！認知症に対するリハビリテーション」R６年９月２８日開催 （函館市訪問リハビリテーション連絡協議会主催）	５件
	医療講演会「小脳がこわれる」R６年１１月３０日開催 （であい友の会 道南地区連絡会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会）主催）	
	第５４回 道南地区老人福祉施設職員研究大会 「道南の絆を取り戻す！」R６年１１月１８日，１９日開催 （道南地区老人福祉施設協議会主催）	
	函館病診連携懇話会講演会 「令和6年度函館歯科病診連携懇話会第一回定例会」R６年１０月９日開催 （函館歯科病診連携懇話会主催）	
	2024年度南渡島地域包括緩和ケアネットワーク会員総会並びに第 19 回定例会 「高齢者の意思決定支援」R６年１０月２８日開催 （南渡島地域包括緩和ケアネットワーク主催）	
合　計		１６件

（その他）

函館市医療・介護連携支援センター主催	１件
ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催	２件
各団体との共催	２件
函館市医療・介護連携支援センター，ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター共催	６件

連携ルール作業部会関係資料

資料4－1

はこだて療養支援のしおり　令和６年更新内容

・表紙・裏表紙に，「令和６年７月版」と追加。しおり全体の文章の修正。

P10：医療費について知りたい

●特定医療費（指定難病）

・対象疾病数の変更。計 338 疾病から計 341 疾病へ変更。

P12・13：病床の仕組みを知りたい

●「病床」と「病棟」について

・療養病棟（病床）：２０２４年３月にて介護療養病棟の廃止となったため文章変更。

・地域包括医療病棟（病床）：2024 年診療報酬改定にて新設されたため追加。

●各病院の病床一覧

・病床項目：「療養（介護）」削除，「地域包括医療」追加。

・国立病院機構函館病院：名称変更，病床の変更はなし。

・富田病院：療養（医療）病床　廃止。

・函館協会病院：地域包括ケア病床　廃止。

・函館稜北病院：一般病床　廃止。

（令和５年６月現在）

	一般	地域包括ケア	回復期	慢性期	ホスピス緩和ケア	精神	療養（医療）	地域包括医療	感染症	結核
亀田北病院						●				
亀田花園病院	●						●			
亀田病院	●	●	●	●						
共愛会病院	●	●		●			●			
国立病院機構函館病院 ８月～函館医療センターへ名称変更	●	●								
市立函館恵山病院							●			
市立函館病院	●								●	●
市立函館南茅部病院	●						●			
高橋病院		●	●							
富田病院	●					●	●			
ななえ新病院		●	●				●			
なるかわ病院						●	●			
西堀病院	●	●	●	●						
函館おおむら整形外科病院	●									
函館おしま病院					●					
函館記念病院				●		●	●			
函館協会病院	●	●	●	●			●			
函館五稜郭病院	●									
函館市医師会病院	●	●		●						
函館新都市病院	●		●							
函館赤十字病院	●	●								
函館中央病院	●									
函館脳神経外科病院	●		●							
函館稜北病院	●	●	●							
函館渡辺病院	●					●				
森病院					●		●			

P14：ACP・DNARの違いは？

●人生会議・ＡＣＰ（Advance Care Planning：アドバンス・ケア・プランニング）

・「もしもノートはこだて」情報追加。

P17：病院の相談窓口がわかりにくい

●病院相談窓口一覧

・国立病院機構函館病院：名称変更。相談窓口，連絡先は変更なし。

・高橋病院：病院移転のため，連絡先変更。

・函館渡辺病院：相談窓口名称変更。

・森病院：連絡先の直通番号を削除。

【函館市および近郊　病院相談窓口一覧】　＊五十音順　（令和6年7月現在）

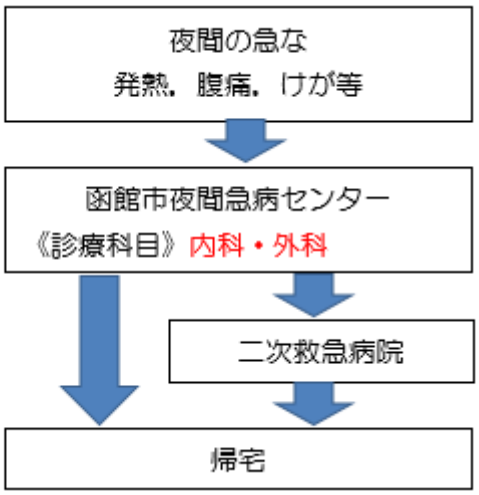
医療機関	相談窓口	連絡先
亀田北病院	地域連携室 認知症疾患医療センター	46-4651（代表）
亀田花園病院	地域連携室	33-2501（直通）
亀田病院	地域連携室	40-1500（代表） 41-8883（直通）
共愛会病院	入退院支援室	33-1166（直通）
国立病院機構函館病院 8月～国立病院機構函館医療センター名称変更	地域医療連携室	51-0229（直通）
市立函館恵山病院	医療連携室	85-2001（代表）
市立函館病院	患者サポートセンター	43-2000（代表）
市立函館南茅部病院	事務	25-3511（代表）
高橋病院	総合支援センター	23-7221（代表） 10月移転後～番号変更予定
富田病院	地域医療連携室	52-1114（直通）
ななえ新病院	ソーシャルサポートセンター	65-8879（直通）
なるかわ病院	医療相談室	65-7131（代表）
西堀病院	地域連携課	78-0102（直通）
函館おおむら整形外科病院	地域連携課	47-5333（直通）
函館おしま病院	入退院支援室	56-2308（代表）
函館記念病院	地域医療連携室	42-0769（直通）
函館協会病院	地域医療福祉連携室	53-5511（代表）
函館五稜郭病院	地域連携・PFMセンター ・入院および外来受診予約 ・入院中・通院中患者・介護関連の相談	51-5699（直通） 51-2498（直通）
函館市医師会病院	医療・介護連携課　医療福祉相談係	43-4873（直通）
函館新都市病院	医療支援課連携係	46-1321（代表）
函館赤十字病院	医療相談室	52-4363（直通）
函館中央病院	医療福祉相談室	52-1231（代表）
函館脳神経外科病院	医療相談室	31-0606（直通）
函館稜北病院	医療福祉相談課	31-1791（直通）
函館渡辺病院	患者総合サポートセンター 患者サポートセンター ・一般科受診予約 ・一般科・精神科入院相談 ・一般科・精神科身体合併症病棟担当	59-2357（直通）
	・精神科病棟担当 ・ゆのかねメンタルクリニック　受診相談等	59-4198（直通） 59-3331（代表）
	地域サポートセンター ・ゆのかねメンタルクリニック　通院患者相談等	59-4198（直通）
森病院	医療相談室	47-2222（代表）

P27・28：曜日・時間帯別の医療機関のかかり方について知りたい

・函館市夜間急病センターの診療科目，対応時間の変更に伴い，図と文章の変更。

<table>
<tr><td></td><td>月～金</td><td>土曜日</td><td>日曜日・休日</td></tr>
<tr><td>午前</td><td colspan="2" rowspan="2">かかりつけ医</td><td rowspan="2">休日当番医</td></tr>
<tr><td>午後</td></tr>
<tr><td>夜間救急開始前</td><td colspan="3">夜間診療医療機関などを行っている医療機関</td></tr>
<tr><td>夜間救急
【内科・外科】
午後７時３０分～深夜０時
【小児科】
午後７時～深夜０時</td><td colspan="3">夜間初期救急救急医療機関
【内科・外科】函館市夜間急病センター
【小児科】市立函館病院　夜間こども急患室</td></tr>
<tr><td>深夜０時～午前９時</td><td colspan="3">深夜０時以降に受診できる医療機関を探す
北海道救急医療・広域災害情報システム
救急医療情報案内センター
0120-20-8699
携帯・PHS　011-221-8699</td></tr>
</table>

【受診時の流れ】



P33：柔道整復師，鍼灸師・マッサージ師に訪問してもらい治療や施術を受ける事ができる？

●柔道整復師による訪問

・函館ブロックの HP の変更あり，リンクはりかえ。

●鍼灸師・マッサージ師による訪問

・掲載文章の変更。

P34：函館市の施設・在宅・病院での看取りの現状について知りたい

・センター発行の在宅看取り冊子の情報を追加。
・センターHP 看取りに関する情報掲載について，修正。

P35：高齢者の住まいについて知りたい

・函館市では制度を活用した賃貸住宅はない状況，函館市 HP から項目が削除されており，しおりから削除。

資料4－2

はこだて入退院支援連携ガイド　改善箇所　＊令和６年４月変更＊

＊１，２，３における参考意見
・介護施設の種類（特養，老健，介護医療院，グループホーム，有料老人ホーム）の紹介もあるといい。

１，P１１：（３）入院中［医療機関］④在宅・施設担当者との協力 ９行目の文章を変更

退院後，訪問診療が必要な場合，対応が可能か，かかりつけ医に相談しましょう。かかりつけの患者の場合のみ対応する医師もいます。（在宅医療・介護連携マップ＞函館市医療・介護連携支援センターHP http://hakodate-ikr.jp 参照）

（変更）

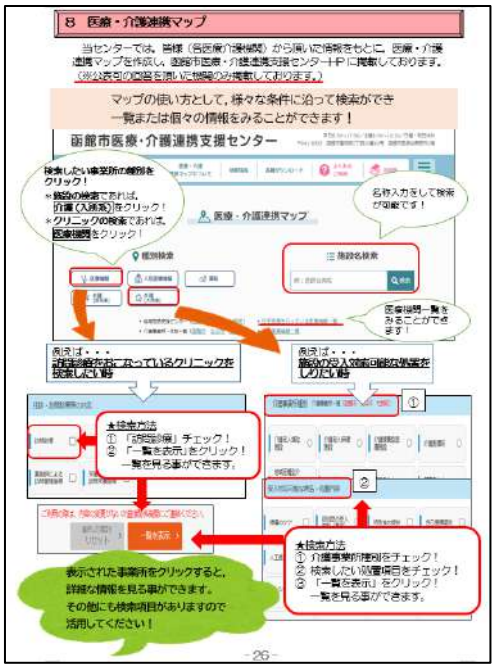
退院後，訪問診療が必要な場合，対応が可能か，かかりつけ医に相談しましょう。かかりつけの患者の場合のみ対応する医師もいます。（施設の体制や訪問診療の情報など，函館市医療・介護連携支援センターHP：医療・介護連携マップにおいて検索が可能です。P26：８医療・介護連携マップ参照）

２，P１１：（３）入院中［医療機関］⑤医療機器の操作や医療処置の実技指導 ８行目に文章を追加

（変更）

（施設の医療処置の対応については，函館市医療・介護連携支援センターHP　医療・介護連携マップにおいて検索が可能です。P26：８医療・介護連携マップ参照）

３，２６ページに，函館市医療・介護連携支援センターHP 医療・介護連携マップの情報を掲載する



資料４－３

オーバーナイト対象患者に係るヒアリング調査結果（医療サイド）

１　調査対象期間：令和６年１月１日～令和６年６月３０日

２　調 査 対 象：全２０機関
・空床情報システムに登録している急変時対応協力医療機関
・二次救急医療機関

３　調 査 結 果：下記のとおり

ヒアリング項目		回答
１	年齢	８０代
２	性別	女性
３	居住地	北斗市
４－１	照会元病院（オーバーナイトを行った病院）	急性期病院
４－２	空床情報システムの確認の有無	確認していない
５	病名	右変形膝関節症
６	二次救急医療機関へ救急搬送された経緯	右ひざの痛みが強く，歩行困難
７	オーバーナイト後から転院受け入れまたは退院までに要した期間	一晩
８	転院受け入れ後から退院までの入院期間	約１か月
９	退院先	自宅

資料4－4

高齢者の急変時の救急受診にかかわる調査（介護側へのヒアリングに先立つアンケート）

実施時期～令和6年6月28日から令和6年7月26日
対象事業所～396件
回収～105件（回収率　26.5%）

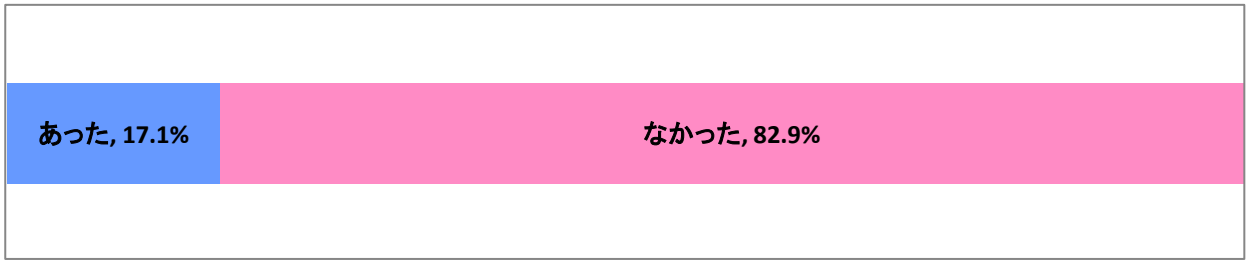
種　別	配付件数	回収件数	種別ごと回収率
①　居宅介護支援事業所	94 件	35 件	37.2%
②　包括支援センター	10 件	6 件	60.0%
③　訪問看護	38 件	10 件	26.3%
④　短期入所生活介護	28 件	3 件	10.7%
⑤　短期入所療養介護	11 件	2 件	18.2%
⑥　特定施設入居者生活介護	12 件	4 件	33.3%
⑦　小規模多機能型居宅介護	19 件	5 件	26.3%
⑧　認知症対応型共同生活介護	47 件	8 件	17.0%
⑨　地域密着型特定施設入居者生活介護	13 件	6 件	46.2%
⑩　地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5 件	1 件	20.0%
⑪　看護小規模多機能型居宅介護	6 件	0 件	0.0%
⑫　介護老人福祉施設	17 件	7 件	41.2%
⑬　介護老人保健施設	8 件	3 件	37.5%
⑭　介護医療院	4 件	3 件	75.0%
⑮　サ高住・有料	84 件	12 件	14.3%
合　計	396 件	105 件	26.5%

（1）貴所属機関において，令和5年７月１日から令和6年６月３０日までの期間で，夜間や休日に高齢者の容態が急変した際に救急医療機関へ受診対応（救急車の要請含む）した事例がありましたか？

項　目	R5.7.1～R6.6.30分		R4.7.1～R5.6.30分		R3.7.1～R4.6.30分	
	受取件数	割　合	受取件数	割　合	受取件数	割　合
①　はい	70　件	66.7%	87　件	63.0%	107　件	62.2%
②　いいえ	35　件	33.3%	51　件	37.0%	65　件	37.8%
合　計	105　件		138　件		172　件	

（2）（1）で「①はい」とお答えされた方にお伺いします。
救急受診した際に，診察の結果，入院の判断とならずに帰宅となり対応に困った事例はありましたか？

項　目	R5.7.1～R6.6.30分		R4.7.1～R5.6.30分		R3.7.1～R4.6.30分	
	受取件数	割　合	受取件数	割　合	受取件数	割　合
①　あった	12　件	17.1%	14　件	16.1%	25　件	23.4%
②　なかった	58　件	82.9%	67　件	77.0%	82　件	76.6%
③　未記入	0　件	0.0%	6　件	6.9%	0　件	0.0%
合　計	70　件		87　件		107　件	



資料5－1

その他関係資料

令和６年度上半期におけるその他の活動報告

（１）地域の医療・介護の資源の把握

・多職種から寄せられたお役立ち情報　　９件

・コラム　「医療・介護連携マップで検索できる各機関の機能」（令和５年度から継続）
第５回「通所介護」
函館市デイサービス・訪問入浴連絡協議会　会長　工藤　晃士　様
第６回「小規模多機能型居宅介護」
小規模多機能ホームアニー　計画作成担当者　渡部　良仁　様

（２）医療・介護連携に関する相談支援

資料５－２のとおり

（３）市民への普及啓発

・出前講座
６月２５日　函館市シニア大学亀田校（１５１名）
「生活習慣病について」
７月１１日　松陰クラブ（１０名）
「椅子に座ったままの体操」ほか
（ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター対応）
９月３０日　令和６年度北海道老人クラブ連合会南渡島ブロック老人クラブ連合会研修会（１６０名）
「地域で元気に過ごすために」

・３市町合同住民公開講座（映画「オレンジ・ランプ」上映とトークショー）
６月２２日（土）13:30～16:30　七飯町文化センターパイオニアホール
参加者数　３６５名

（４）医療・介護関係者の研修

・出張講座
７月１７日　東央部第２圏域ケアマネ懇談会（１３名）
「地域みんなでご本人の思いをつなぐ」

（５）その他

・新規立ち上げ事業所挨拶回り
４月１７日　おうち看護ロータス
８月２０日　介護サポート　めぐみ
８月２１日　パワリハデイ桜華
８月２２日　介護相談センター　亮

資料5－2

函館市 医療・介護連携支援センター 相談件数統計

令和6年4月1日～令和6年9月30日

1 新規の相談

（1）相談内容別　　（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
退院支援・調整	0	3	0	1	0	1							5	0.8
日常の療養支援	5	4	5	10	10	6							40	6.7
急変時の対応	0	0	0	0	0	1							1	0.2
看取り	0	0	0	0	0	1							1	0.2
その他	1	2	2	0	0	1							6	1.0
合 計	6	9	7	11	10	10							53	8.8

（2）相談依頼者別　　（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
本人	2	2	1	0	0	1							6	1.0
家族	1	3	3	5	5	2							19	3.2
在宅医療機関（診療所）	0	0	0	1	0	1							2	0.3
在宅医療機関（病院）	0	0	0	1	0	0							1	0.2
入院医療機関（診療所）	0	0	0	0	0	0							0	0.0
入院医療機関（病院）	1	0	0	0	2	2							5	0.8
医療機関（歯科）	0	0	0	0	0	0							0	0.0
薬局	0	0	0	0	0	1							1	0.2
地域包括支援センター	0	0	0	0	2	1							3	0.5
居宅介護支援事業所	2	0	2	1	0	0							5	0.8
訪問看護ステーション	0	0	0	0	0	1							1	0.2
老人福祉施設	0	0	0	2	0	0							2	0.3
介護保険事業所	0	0	1	0	0	0							1	0.2
その他	0	4	0	1	1	1							7	1.2
合 計	6	9	7	11	10	10							53	8.8

2 新規および継続の相談対応方法別　　（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
電話	10	14	18	15	19	20							96	16.0
訪問	0	0	0	0	1	1							2	0.3
来所	1	2	0	0	0	1							4	0.7
文書	0	0	0	0	0	0							0	0.0
メール	0	0	0	3	2	0							5	0.8
関係者協議	1	3	6	4	5	1							20	3.3
その他	0	0	0	0	0	0							0	0.0
合計（延べ件数）	12	19	24	22	27	23							127	21.2

参考

函館市 医療・介護連携支援センター 相談件数統計

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 新規の相談

(1)相談内容別 (単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
退院支援・調整	1	5	3	1	4	2	0	1	1	0	2	2	22	1.8
日常の療養支援	8	12	13	10	9	6	6	5	5	11	9	7	101	8.4
急変時の対応	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0.2
看取り	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0.3
その他	1	3	1	1	3	3	2	2	7	3	0	1	27	2.3
合 計	11	20	18	12	17	11	8	8	13	14	13	10	155	12.9

(2)相談依頼者別 (単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
本人	1	5	2	6	4	5	0	1	1	4	0	2	31	2.6
家族	4	7	6	2	6	2	2	5	0	4	5	3	46	3.8
在宅医療機関(診療所)	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	6	0.5
在宅医療機関(病院)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
入院医療機関(診療所)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.2
入院医療機関(病院)	0	2	3	2	2	0	1	0	2	1	2	1	16	1.3
医療機関(歯科)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
薬局	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1
地域包括支援センター	1	2	4	0	1	2	0	0	0	1	3	1	15	1.3
居宅介護支援事業所	1	0	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1	10	0.8
訪問看護ステーション	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
老人福祉施設	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	4	0.3
介護保険事業所	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0.4
その他	1	3	1	0	0	1	2	0	2	3	1	1	15	1.3
合 計	11	20	18	12	17	11	8	8	13	14	13	10	155	12.9

2 新規および継続の相談対応方法別 (単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
電話	17	41	36	16	41	21	18	10	17	25	13	15	270	22.5
訪問	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
来所	1	2	2	2	3	0	1	1	0	3	2	2	19	1.6
文書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
メール	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	3	0	7	0.6
関係者協議	4	8	7	3	10	4	4	1	1	6	2	3	53	4.4
その他	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.2
合計(延べ件数)	22	52	46	21	55	27	23	12	20	34	20	20	352	29.3

資料６－１

「はこだて医療・介護連携サマリー」の全国展開に向けた基本ツールの改正について

＜ 協 議 事 項 ＞

「はこだて医療・介護連携サマリー（以下「サマリー」という。）」の全国展開に向けた，基本ツールの改正について，下記の事項を承認いただきたいと考えているが，いかがか。

・ＡＤＬ項目をバーセルインデックスに基づく項目に置き換えること
・口腔・栄養の項目を追加すること

【 これまでの経過等 】

・　令和４年度に，厚生労働省が主催する「健康・医療・介護情報利活用検討会介護情報利活用ワーキンググループ」の構成員を務める産業医科大学の松田 晋哉 教授から，**全国で利用可能な医療・介護情報共有ツールの作成を進めるにあたり，本市のサマリーをたたき台としたい**とのお話があり，令和５年３月３０日の本協議会において，**全国展開に向けてサマリーの様式変更等を進める方向性が承認**された

・　これまで，松田教授や同じくワーキンググループの構成員で全国老人保健施設協会副会長である高橋病院の高橋理事長からの助言等を踏まえながら，ツール部会で協議を重ね，**基本ツールについて，「ＡＤＬ項目のバーセルインデックスに基づく項目への置き換え」，「口腔・栄養の項目の追加」等の改正を検討**することについて，ツール部会と令和６年３月２７日の本協議会での承認を得ており，その方向に沿って協議を継続している。

・　協議を進める中で，令和６年５月２０日の臨時ツール部会において，**改正後のサマリーの本格運用前に試験運用を行うことが協議・承認**されたことから，同年８月～９月に**函館中央病院の協力のもとで試験運用を実施したところ，運用上の問題は生じなかった**ことが確認され，令和６年１０月１１日のツール部会において，**基本ツールを試験運用に用いた様式に改正する**ことが承認された。

・　今後は，**本協議会での承認が得られ次第，改正版の基本ツールをツール部会推奨版として公開**するとともに，関係各所に対して積極的に周知を図っていきたいと考えている。（旧サマリーの利用も継続できる運用とする予定）

資料6－2

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

（チェック式）

現 行

情報提供先施設名称	御中	情報提供先担当者名	様

● 基本情報等

（フリガナ） 氏 名		生年・性別等	生 □ 男 □ 女 （満 ### 歳）	生活保護	□ 無 □ 有	障害等認定	□ 無 □ 身障（ 級 ） □ 療育 □ 精神（ 級 ） □ 特定疾患（ ）
現住所				電話番号			
居住	□ 戸建（ 階 ） □ 集合住宅（ 階 ）※エレベータ □ 有 □ 無 □ 施設（ ）			医療保険種類	□ 健康保険 □ 国民健康保険 □ 後期高齢者 □ その他 （ ）		
要介護度		認定有効期間	年 月 日 ～ 年 月 日	障害高齢者日常生活自立度（寝たきり度）		認知症高齢者日常生活自立度	
同居家族	□ 無 □ 配偶者 □ 子 □ 子の配偶者 □ 兄弟姉妹 □ その他（ ）						
連絡先①		続柄		□ 同居 □ 別居	電話	関係	□ 主介護者 □ キーパーソン □ その他（ ）
連絡先②		続柄		□ 同居 □ 別居	電話	関係	□ 主介護者 □ キーパーソン □ その他（ ）

● 医療情報等

*歯科医師等が摂食や口腔ケアに介入されている場合は、応用ツール④を作成下さい。

主病名	医療機関等名称	診療科名等	担当医	受診状況等	*特記
					□
					□
					□

*特記☑の付く場合は応用ツール⑲を作成して下さい。

● 身体・生活機能等

評価日：令和 年 月 日 □ 入院時 □ 入院中 □ 退院時 □ 地域生活期 □ その他（ ）

*起居動作	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助	移動	□ 自立 ⇒ □ 杖 □ 歩行器 □ 車いす □ 介助 □ その他（ ）	
麻痺の状況	□ 無 □ 軽度 □ 中度 □ 重度	麻痺の部位	□ 左上肢 □ 右上肢 □ その他 □ 左下肢 □ 右下肢 （ ）	
視力［日常生活に支障］	□ 無 □ 有⇒（ ）	・眼鏡	□ 無 □ 有	
聴力［日常生活に支障］	□ 無 □ 有⇒（ ）	・補聴器	□ 無 □ 有	
意思の伝達	□ 可 □ 時々可 □ ほとんど不可 □ 不可	失語症	□ 無 □ 有 □ 不明	
*認知症症状	□ 無 □ 記憶障害 □ 幻覚・妄想 □ 昼夜逆転 □ 介護への抵抗 □ 抑うつ・不安 □ 暴言・暴力 □ 不潔行為 □ 徘徊 □ その他（ ）			
食事摂取 *食形態	□ 普通 □ 刻み □ ソフト □ ミキサー □ 流動	水分トロミ	□ 無 □ 有	
食事摂取 *食動作	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助	食事・水分制限	□ 無 □ 有	
口腔 *口腔ケア	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助	義歯使用	□ 無 □ 有 □ 要アセスメント	
排泄 排尿介助	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助	Pトイレ使用	□ 無 □ 夜間 □ 常時	
排泄 排便介助	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助	オムツ使用（パッド含む）	□ 無 □ 夜間 □ 常時	
衣服の着脱	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助	*服薬管理	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助	
入浴（保清等）	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助			

*特別な医療等（☑の付く項目は右記の応用ツールを作成下さい。）

- □ 褥瘡（応用ツール② 作成）
- □ 皮膚疾患（応用ツール⑲ 作成）
- □ 認知症（応用ツール③ 作成）
- □ 食事摂取困難（応用ツール④ 作成）
- □ 自己腹膜灌流装置（応用ツール⑤ 作成）
- □ 透析液供給装置
- □ 酸素療法（応用ツール⑥ 作成）
- □ 吸引器
- □ 輸液ポンプ
- □ 中心静脈栄養（応用ツール⑦ 作成）
- □ 在宅自己注射(インスリン)（応用ツール⑧ 作成）
- □ 経管栄養（応用ツール⑨ 作成）
- □ 留置カテーテル（応用ツール⑩ 作成）
- □ 自己導尿（応用ツール⑪ 作成）
- □ 腎瘻・尿管皮膚瘻（応用ツール⑫ 作成）
- □ ドレーン （部位: ）
- □ 人工呼吸器（応用ツール⑬ 作成）
- □ 気管カニューレ（応用ツール⑭ 作成）
- □ 人工肛門・人工膀胱（応用ツール⑮ 作成）
- □ 感染症（応用ツール⑯ 作成）
- □ リハビリテーション（リハビリテーションサマリー 作成）
- □ 癌末期疼痛管理（応用ツール⑰ 作成）
- □ 本人の意向を尊重した意思決定支援のための情報（応用ツール⑱作成）
- □ その他（応用ツール⑲ 作成）

在宅介護サービス等

□ 訪問診療 □ 訪問歯科診療 □ 訪問看護 □ 訪問介護 □ 訪問入浴 □ 訪問リハビリ □ 通所リハビリ
□ 通所介護 □ ショートステイ □ 住宅改修 □ 福祉用具 □ 定期巡回 □ 小多機 □ 看多機
□ 居宅介護支援 □ 包括支援センター □ 無し □ その他（ ）

*介護上、特に注意すべき点等（［有］の場合応用ツール⑲ 作成）	□ 無 □ 有	*医療・ケアに関する本人・家族の意向等（［有］の場合応用ツール⑱ 作成）	□ 無 □ 有

*起居動作[自立・見守り]以外は応用ツール⑲を、認知症症状[無]以外は応用ツール③を作成下さい。
*食形態・動作・口腔ケアの項目で[普通・自立]以外を選択した場合は応用ツール④を、服薬管理[自立]以外は応用ツール⑲を作成下さい。

本サマリーの記入者	所属名						
電話		FAX		記入者		作成日	

***応用ツール以外の書式を添付する場合は応用ツール①を必ず作成下さい。**

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

（チェック式）

改正案

情報提供先施設名称	御中	情報提供先担当者名	様

● 基本情報等

（フリガナ） 氏 名		生年・性別等	生 □ 男 □ 女 （満 124 歳）	生活保護	□ 無 □ 有
障害等認定	□ 無 □ 身障（ 級 ） □ 療育 □ 精神（ 級 ） □ 特定疾患（ ）				
現住所		電話番号			
居住	□ 戸建（ 階 ） □ 集合住宅（ 階 ）※エレベータ □ 有 □ 無 □ 施設（ ）	医療保険種類	□ 健康保険 □ 国民健康保険 □ 後期高齢者 □ その他 （ ）		
要介護度		認定有効期間	年 月 日 ～ 年 月 日	障害高齢者日常生活自立度（寝たきり度）	
認知症高齢者日常生活自立度					
同居家族	□ 無 □ 配偶者 □ 子 ☑ 子の配偶者 □ 兄弟姉妹 □ その他（ ）				
連絡先①		続柄		□ 同居 □ 別居	電話
関係	□ 主介護者 □ キーパーソン □ その他（ ）				
連絡先②		続柄		□ 同居 □ 別居	電話
関係	□ 主介護者 □ キーパーソン □ その他（ ）				

● 医療情報等

＊歯科医師等が摂食や口腔ケアに介入されている場合は、応用ツール④を作成下さい。

主病名	医療機関等名称	診療科名等	担当医	受診状況等	＊特記
					□
					□
					□

＊特記☑の付く場合は応用ツール⑲を作成して下さい。

● 身体・生活機能等

評価日：令和 年 月 日　□ 入院時 □ 入院中 □ 退院時 □ 地域生活期 □ その他（ ）

＊食事	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助	＊食事・水分制限	□ 無 □ 有
＊椅子とベッド間の移乗	□ 自立 □ 一部介助（監視下） □ 一部介助（座れるが移れない） □ 全介助	移動	□ 自立 ⇒ □ 杖 □ 歩行器 □ 車いす □ 介助 □ その他（ ）
整容	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助	オムツ使用（パッド含む）	□ 無 □ 夜間 □ 常時
トイレ動作	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助	Pトイレ使用	□ 無 □ 夜間 □ 常時
入浴	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助	＊認知症症状	□ 無 □ 記憶障害 □ 幻覚・妄想 □ 暴言・暴力 □ 昼夜逆転 □ 不潔行為 □ 介護への抵抗 □ 徘徊 □ 抑うつ・不安 □ その他 （ ）
平地歩行	□ 自立 □ 一部介助（歩行器等） □ 一部介助（車椅子操作が可能） □ 全介助		
階段昇降	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助		
更衣	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助	意思の伝達	□ 可 □ 時々可 □ ほとんど不可 □ 不可
排便コントロール	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助	失語症	□ 無 □ 有 □ 不明
排尿コントロール	□ 自立 □ 一部介助 □ 全介助	＊服薬管理	□ 自立 □ 見守り □ 一部介助 □ 全介助

口腔・栄養	身長	体重	歯の汚れ	＊むせ	＊水分トロミ	歯肉の腫れ・出血	義歯使用
	cm	kg	□ 無 □ 有	□ 無 □ 有	□ 無 □ 有	□ 無 □ 有	□ 無 □ 有

麻痺の状況	□ 無 □ 軽度 □ 中度 □ 重度	麻痺の部位	□ 左上肢 □ 右上肢 □ その他 □ 左下肢 □ 右下肢 （ ）
視力［日常生活に支障］	□ 無 □ 有⇒（ ）	・眼鏡	□ 無 □ 有
聴力［日常生活に支障］	□ 無 □ 有⇒（ ）	・補聴器	□ 無 □ 有

＊特別な医療等

☑の付く項目は右記の応用ツールを作成下さい。

□ 褥瘡 （応用ツール② 作成）		□ 留置カテーテル （応用ツール⑩ 作成）	
□ 皮膚疾患 （応用ツール⑲ 作成）		□ 自己導尿 （応用ツール⑪ 作成）	
□ 認知症 （応用ツール③ 作成）		□ 腎瘻・尿管皮膚瘻 （応用ツール⑫ 作成）	
□ 食事摂取困難 （応用ツール④ 作成）		□ ドレーン （部位： ）	
□ 自己腹膜灌流装置 （応用ツール⑤ 作成）		□ 人工呼吸器 （応用ツール⑬ 作成）	
□ 透析液供給装置		□ 気管カニューレ （応用ツール⑭ 作成）	
□ 酸素療法 （応用ツール⑥ 作成）		□ 人工肛門・人工膀胱 （応用ツール⑮ 作成）	
□ 吸引器		□ 感染症 （応用ツール⑯ 作成）	
□ 輸液ポンプ		□ リハビリテーション （リハビリテーションサマリー 作成）	
□ 中心静脈栄養 （応用ツール⑦ 作成）		□ 癌末期疼痛管理 （応用ツール⑰ 作成）	
□ 在宅自己注射（インスリン） （応用ツール⑧ 作成）		□ 本人の意向を尊重した意思決定支援のための情報 （応用ツール⑱作成）	
□ 経管栄養 （応用ツール⑨ 作成）		□ その他 （応用ツール⑲ 作成）	

在宅介護サービス等	□ 訪問診療	□ 訪問歯科診療	□ 訪問看護	□ 訪問介護	□ 訪問入浴	□ 訪問リハビリ	□ 通所リハビリ	
	□ 通所介護	□ ショートステイ	□ 住宅改修	□ 福祉用具	□ 定期巡回	□ 小多機	□ 看多機	
	□ 居宅介護支援	□ 包括支援センター	□ 無し	□ その他（ ）				

＊介護上、特に注意すべき点等（［有］の場合応用ツール⑲ 作成）	□ 無 □ 有	＊医療・ケアに関する本人・家族の意向等（［有］の場合応用ツール⑱ 作成）	□ 無 □ 有

＊食事の項目で［自立］以外、食事・水分制限の項目で［有］、口腔・栄養欄のむせと水分トロミの項目で［有］を選択した場合は応用ツール④を作成下さい。

＊椅子とベッド間の移乗の項目で［自立］以外は応用ツール⑲を、認知症症状［無］以外は応用ツール③を、服薬管理［自立］以外は応用ツール⑲を作成下さい。

本サマリーの記入者	所属名						
電話		FAX		記入者		作成日	

＊応用ツール以外の書式を添付する場合は応用ツール①を必ず作成下さい。